

【B】『オーディション編』

以下の設定・台本で、カメラに向かって一人芝居を演じてください。

一応「台詞」の形で書いてありますが、大筋が合っていれば、細かい言い回しは自由です。あなたなりの工夫を入れてみてください(方言に変えてもかまいません)。最後に、素のあなたに戻って、簡単な自己紹介をお願いします。

以上を、**全体で3分以内、編集なし・1カット**でお願いします。

《設定》

あなたはつい先日まで、人気ベテラン女優だった。恋愛ドラマの常連として鳴らしていた時期もある。しかし最近突然、女優を引退し、プロデューサーとして裏方に回るようになった。今日はその初仕事。あるドラマの、女性役のオーディションである。(リモートではなく、対面している体で)

■スタート■

あなた 次の方、どうぞ！ (受験者、席に着き名前を言う)

…はい。よろしくおねがいます。私は〇〇〇〇。…実は、この間まで女優やってました。知ってる？私のこと？ほんと？じゃあ、代表作は？…やるじゃん。そう、『聖夜21時』、『リケン前』。あの作品のお蔭で、世間にちょっと顔を知ってもらえた。じゃあのドラマの一番の名セリフは覚えてる？…そっかー！知ってたらポイント高かったんだけど…冗談よ！

あのね、あのドラマの最終回なだけけど。クリスマス・イブに東京から来た私が、唐木虎之介さん演じる大阪勤務の彼と、ビリケンさんの前で夜9時に待ち合わせしてたわけ。けれど彼のうっかりで、ビリケンさんがいる通天閣は夜8時間閉館で、私入れなかったわけよ。その上、彼は仕事なのか遅刻して現れなくて。私は、寂しくて、寒くて、お腹が空いて、仕方なく通天閣の下の串カツ屋さんに入るの。少し気は紛れたんだけど、うっかりソースを二度漬けてしまっって、店の人に注意されて気まずくなって店を出る。そこに、彼が、全速力でやって来るのね！

「ゴメン!!!」ってその場で抱きしめてくれて!そのまま二人の顔は…ああ…私は言うの、

「二度漬けより、くちづけね♡」って。そしたら彼が

「ソースの味がしたよ」って!

…気が付くと二人は、百人くらいの地元のおっちゃんたちに囲まれて、拍手されて…

何よポカンとして。このシーンのお蔭で、「二度漬け禁止」が全国に知れ渡ったんだからね。そんな私がなぜ女優を辞めたか。…違うわよ。あなたのスキヤンダルのうちには入らない。じゃなくて、最近ね、私の出演シーンを撮影すると、必ず、あとで騒ぎになるの。映像をチェックすると、私の後ろに、必ずなんか変な、いるはずのない人影が写ってて…。そんな心霊役者、使えないわよね。ま、私も昔いろいろあったから。…冗談よ!あら、もう時間になっちゃった。

次の方、どうぞ!

素のあなたに戻り

ありがとうございます。〇〇〇〇です。

(自己紹介)

以上です、よろしくお願ひします。